

4月「クローバーだより」(全3ページ)



* 4月号は、実際に保護者さんからご相談をいただいた、新学期の事例を取り上げました。

保護者には、絶対に必要な「基本姿勢（スタンス）」というものがあります！

4月の新学期からの「安定した登校」につなげるために・・・

学校を休みがちだったけど、

「4月からは、学校に行ってみようかな。」「行ってみたいな。」と、
新学期への期待を膨らませている多くの子どもたちがいるのでは、・・・と思います。

しかし、新しいクラスが編成され、担任もかわり、人間関係も大きく変わってくるため、
いろいろな**不安や緊張**を感じることもあると思います。

特に、小1、中1、高1の教育環境の変化は大きく、不安や緊張はより増します。



このように子どもの気持ち揺れ動いている時期に、

「4月からは（今日は）、学校は、どうするの？」などと、問いかけてしまうと、
子どもの新学期への期待は、一気にトーンダウンしてしまうので、・・・**注意が必要です！**

◆「安定した登校」につなげる保護者の「基本姿勢（スタンス）」とは、・・・？

「安定した登校」につなげていこうとすると、・・・

保護者には、絶対に必要な「**基本姿勢（スタンス）**」というものがあります。

その「**基本姿勢**」を、分かりやすい言葉に言い換えると、例えば、・・・

「学校に行けるようになるといいね」

「学校で、友だちと楽しい時間が過ごせるといいね」

「学校で、楽しく勉強できるといいね」・・・といった表現になります。



そのような「**基本姿勢**」で、子どもと接していくと、

保護者の「言葉かけ」や「関わり方」は、自ずと、**子ども視点**へと変わっていくので、
子どもは心の安定と元気を回復し、気持ちも学校へと向かい始めます。

反対に、

「学校に行きなさい」「学校は、どうするの？」といった指示的な姿勢は、
子どもの気持ちを、学校から遠ざける方向に作用するので、・・・**要注意です。**

4月号では、むずかしいお話は、・・・ここまで。

以下では、実際に、ご相談のあった**新学期の具体的場面**を取り上げ、
上で述べた「**基本姿勢**」に即した適切な対応について、考えてみることにしましょう。

◆「**基本姿勢**」に即した適切な対応について、具体的場面で、考えてみましょう！

★「**安定した登校**」につなげていくために、
保護者は、どのような「**言葉かけ**」や「**関わり方**」をするのが適切だと思いますか。
1～8の場面で、「**これが適切！**」と思うものを選んでみてください。

場面1 朝7時（登校に十分間に合う）に、子どもが起きて、居間に入ってきました。
保護者は、どのような「**言葉かけ**」をするとよいと思いますか。（**重要**）

- ☐ 「ご飯ができてるよ。いっしょに食べよう。」と声をかける
- ☐ 笑顔で、「〇〇、おはよう。」と、声をかける（〇〇は子どもの名前）
- ☐ 「今日は、早く起きたね。」と、声をかける

場面2 欠席するときは、学校に連絡をすることになっていると思います。
そこで、子どもに尋ねます。
保護者は、出欠について、どのような尋ね方をするとよいと思いますか。（**重要**）

- ☐ 「今日は、学校に行くの？行かないの？」
- ☐ 「今日は、学校は、どうするの？」
- ☐ 「今日は、学校は、どうしたいの？」



場面3 新学期からの給食をどうするか、学校から問い合わせがありました。
保護者は、どのように対応するとよいと思いますか。（**重要**）

- ☐ 「学校に行くなら、給食を頼んでおくけど、どうする？」と、子どもに尋ねる
- ☐ 学校に行く、行かないにかかわらず、給食を頼んでおく
- ☐ 「給食を頼んでおいたよ」と、子どもに伝えておく

場面4 朝、子どもが、「今日は、学校に行かない」と言ってきました。
保護者は、どのような言葉かけをするとよいと思いますか。（**最重要**）

- ☐ 「行きたくないなら、休んでもいいよ」と、話す
- ☐ 「行きたくないと思うくらい、気持ちがいらいだね」と、返す
- ☐ 「それじゃあは、欠席すると学校に連絡しておくね」と、伝える

場面 5 子どもに「インターネットを夜 1 時まで使えるように延長してくれたら学校へ行く」と、言われました。あなたは、どう対応するとよいと思いますか。(重要)

- () 今まで通りの時間を守るように話す
- () 「夜 1 時は遅いので、11 時くらいまでの延長ならいい」と話す
- () 夜 1 時まで使えるように延長する

場面 6 新学期のある日、子どもが登校しました。(実際に、こういうことはよくあります)
子どもが学校から帰ってきた時、・・・
あなたは、どのように対応するとよいと思いますか。(重要)

- () 帰ってきたら、学校での様子をいろいろ尋ねる
- () 「お疲れ様」と、一言、ねぎらう
- () 「学校に行けたのね」と、笑顔でほめる



場面 7 学校から、「給食が始まるまでは、弁当を持たせてください」と連絡があったので、毎日、弁当を作りました。
しかし、ある朝、子どもが「何か今日は、学校に行くのが億劫だな」と言い始めました。
あなたは、どのように対応するとよいと思いますか。(最重要)

- () 「せっかく弁当を作ったんだから、行ってきなさい」と、言う
- () 「あー、そうなの」と、返す
- () 「せっかく弁当をつくったのに、・・・」と、言う

場面 8 学校から、「4 月の修学旅行はどうされたいですか?」と、電話がありました。
あなたは、どのように対応されますか。

※場面 8 もよくある事例です。選択肢は設けません。各自で考えてみてください。

◆「基本姿勢」に即した適切な対応について (コメント)

各場面についての解答は、省略します。

場面 3 についてだけ、コメントします。

「学校に行くなら、給食を頼っておきます」という対応を、「条件付きの愛情」と言います。

子どもには、「親の期待にそった行動をするなら、親の愛情を注ぎます」と伝わります。
裏を返すと、「親の期待にそった行動をしないなら、愛情は注ぎません」という意味になります。

「条件付きの愛情」対応をしていると、子どもの不安(時には恐怖)は高まり、・・・
子どもの登校意欲や行動に、心理的なブレーキがかかってくるので、注意が必要です。
費用は必要ですが、「給食は、無条件に頼んでおく」というのが適切な対応と言えます。

